

語りの会 ぼてふり 第十四回公演

日時 平成三十年九月十三日(木)

昼の部 午後二時半開演(二時開場)

夜の部 午後六時半開演(六時開場)

場所 深川江戸資料館・小劇場

入場料 二〇〇〇円

佐江衆一・作 江戸職人綺譚より

一会の雪

神谷 尚武

「木は必ず夫婦に…。」と約束しながらも、葛籠職人としての道を選び去って行った男が江戸にいと知り、女は病の身をおして旅に出るが…。

俗曲・端唄く江戸の彩りく 桧山うめ吉

日本髪と三味線が似合う俗曲師として人気のうめ吉さんは、高座をホール・グラウンドにCD制作や、日本だけでなく海外でのライブ活動などに活躍中です。今回も会場一杯に江戸情緒を醸し出してくれます。

休憩

池渡正太郎・作 鬼平犯科帳より

深川・千鳥橋

野間 脩平

大工の万三が密かに作った豪邸の「間取り図」を巡って、盗賊どもが、競く争う…、鬼平と密偵の五郎藏大工・万三と茶くみ女・おもと…、深川・千鳥橋を舞台に繰り広げられる、男同士の絆と、男と女の愛の物語である。

奥山景布子・作 小説すばるより

新景鰻沢

内藤 和美

品川で一、二を争うといわれる鳥崎楼。おくまはここで、十六のときから「如月」の名で客を取ってきた。そのおくまが…。

おなじみの落語「鰻沢」が生まれ変わってございます。

十四年目を迎えて

江戸の風情にこだわって、皆さまにおとどけしてきた「語りの会 ぼてふり」公演は、おかげさまで十四回目を迎えます。

天秤棒を担いで、江戸の人々に威勢よく新鮮な匂の味をどけていた「ぼてふり」のような活動を…。と願った名付け親・塚田圭一さんの思いを胸に、多くの皆さまに語りの世界で「江戸の人情」をおとどけできるよう、そして皆さまのさらなる熱い御支援をいただけますよう、語りの会 ぼてふり一同、力を合わせて頑張つてゆく所存です。

今回から塚田圭一さんと深く親交を持たれた野間脩平さんに朗読を語っていただきます。引き続き御最員の程よろしくお願い申し上げます。

神谷 尚武

CM、司会、ラ・テ番組など、フリーナレーターとして活動。ラジオNIKKKI「赤坂朗読サロン」講師。また池波正太郎・作「鬼平犯科帳」、「剣客商売」、「仕掛人・藤枝梅安」をはじめ、藤沢周平、佐江衆一、平岩弓枝、山本一力など時代小説のCDを録音。舞台でも「古賀政男物語」、「江戸時代物の読み語り」に意欲的に取り組んでいる。現在朗読の稽古所「江戸ふれ合い塾」を立ち上げ活躍中！

内藤 和美

故今福祝氏に「アナウンスメント」、故高橋博氏・故山内雅人氏に「朗読」、故小金井吾州氏に「講談」を学ぶ。アナウンスアカデミー、Kプロを経て現在話芸集団「ふれさんぼろす」に所属。「ことのはぐさ」、「えん」等の定期公演に参加。「ハートストリングス語り」と朗読の会は72回を数える。「西澤實の朗読の教科書」付属CDに朗読者として参加。これまでの朗読作品の中から紹介「隅田川」、「清経」、「女殺油地獄」、「敦盛」etc

野間 脩平

昭和41年、慶応義塾大学卒業後、フジテレビ入社。ワイドショー「3時のあなた」、「スター十一夜」等の司会、ニュース、ナレーションと幅広く担当。フジ・アナウンサーの朗読舞台「ラウション」の開始に尽力。定年退職後は、フリー・アナウンサーとして朗読ナレーションの講師を務め、後進の指導に当たっている。かつて時代劇チャンネル「朗読・鬼平犯科帳」を担当、池波正太郎の大ファンである。

松山うめ吉

岡山県倉敷市生まれ、初代くらしき観光大使。平成2年長唄を始める。平成3年国立劇場寄席囃子研修生第8期生。平成5年社団法人落語芸術協会に入会。平成8年松山さくらに端唄・俗曲を師事。平成11年俗曲師・松山うめ吉として活動開始。平成12年寄席の色ものとして高座デビュー。平成13年CD「お国めぐり」発表。平成23年福武文化奨励賞受賞。寄席のほかCD制作やライブ、海外でも活動している。

企画・制作 語りの会 **ぼてふり**

連絡・お問い合わせ (電話・FAX)

神谷尚武 ○四二一七二五―四六五二
○九〇一七七八―二〇八
内藤和美 ○四二一五九三―三七一八
松山うめ吉 ○三―五九三〇―三三〇六
(サトウ企画)

事務局(神橋) ○三―三三三七―九三〇七

E-mail nqh11168@nifty.com

会場

江東区深川江戸資料館

〒135-0021

東京都江東区白河1-3-28

TEL 03-3630-8625

交通機関

地下鉄大江戸線
清澄白河駅下車(徒歩3分)
地下鉄半蔵門線
清澄白河駅下車(徒歩3分)

